

花時計(2025年度9回目(延572回))



◆ 神戸・北野のシンボル 風見鶏の館 ◆

風見鶏の館は、ドイツ人貿易商ゴットフリート・トーマス氏が、1909年頃に建設し、家族と暮らした建物です。2023年10月から耐震工事のため休館し、2025年7月より館内公開を再開しています。尖塔に立つ風見鶏が北野町のシンボルとしてよく知られていますが、室内にも部屋ごとに異なるシャンデリアや美しいスタンドグラスなど見どころが多くありますので、この機会にぜひお越しくください。

※休館日・入館料などの詳細は[風見鶏の館HP](#)でご確認ください。

図案

国指定重要文化財「風見鶏の館」(旧トーマス住宅)

期間

2026年(令和8年)3月5日(木曜)～2026年(令和8年)4月15日(水曜)

使用花苗

ビオラ(赤)	300株	ビオラ(オレンジ)	400株
ビオラ(黄)	300株	ビオラ(白)	200株
ビオラ(青)	800株	ゴールデンモス(黄緑)	800株
		計	2,800株